

文化力の旅 旅鶴プラン300

日本の交点、吉野への旅(1)

紀伊半島は四国南部や南九州とともに、1億年以上前に南の海底から旅してきた。和歌山の紀ノ川、奈良の吉野川に沿って列島を南北に分かつ断層中央構造線が走る。半島の中央、大峰山の入口が吉野。また明日香、平城京、平安京の歴史線の南の基点。列島構造と歴史がかさなる。

この季節のご紹介は、
特にございません。

三重県境から東に流れる吉野川に注ぐ丹生川。その下流沿いの谷に五條市西吉野町賀名生(あのを)。延元(1336)年に足利尊氏に京を追われた後醍醐天皇が、吉野山への途中に立ち寄り、正平3(1348)年、後村上天皇が吉野をのがれ南朝の皇居を置いた地。その皇居とは民家であった。賀名生皇居跡の史跡として今ものこされ、賀名生の里歴史民俗資料館では南朝の宝物、後醍醐天皇縁の品や、拝領品「馱鈴」や「天目台」など貴重な歴史資料が展示される。

この季節催事情報特にございません。



(左右)写真提供:賀名生の里歴史民俗資料館



賀名生の里歴史民俗資料館

奈良県五條市西吉野町和田27-1

TEL:0747-32-9010

(開)9:00-17:00

(休)月と祝日の翌日

(料)一般300円、高生150円、小中生100円

旅鶴倶楽部
会員特典
スタッフによるミニガイド 但し、スタッフご在時の対応。
事前連絡要。 十入館料割引 2割



吉野神宮

この季節のご紹介は、
特にございません。

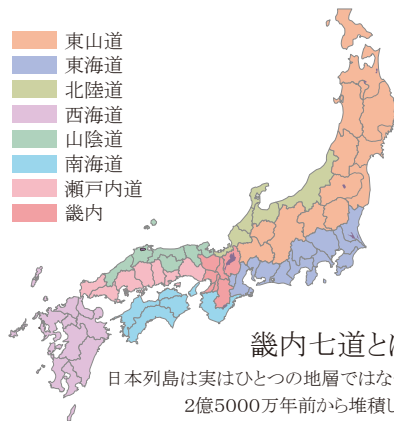
吉野神宮は、後醍醐天皇を祭神とする。約2万7千坪の境内から西方に金剛・葛城山、東方に高見山を望む。本殿は後醍醐天皇が還幸を熱望した京都の方角を向き、社殿は、近代神社建築を代表する総檜造で国登録有形文化財。北面する流造(ながれつくり)の本殿・入母屋造の拝殿・切妻造の神門など、まさに輪奐の美を極める。

この季節催事情報特にございません。

吉野神宮

奈良県吉野郡吉野町吉野山3226 TEL:0746-32-3088

(開)8:30-17:00 (休)無 (料)無



畿内七道とは

日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部
会員特典
この季節のご案内は特にございません。

つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

畿内

室生寺

奈良県宇陀市室生78

☎0745-93-2003

五重塔 秘仏五智如来

本堂 両界曼荼羅 特別拝観

写真提供:室生寺
平成24年2月4日(土)~2月19日(日) 9:00~15:00

平成12年9月に修復された五重塔の中に安置されている秘仏・五智如来が、本堂で重文・如意輪観音像と両脇に掛けられた両界曼荼羅と共に特別公開される。

畿内

薬師寺

奈良市西ノ京町457 ☎0742-33-6001

春の大宝蔵殿特別開扉

【薬師寺の文化財保護展】

平成24年3月24日(土)~4月8日(日)

春の特別公開は昨年に引き続き『薬師寺の文化財保護展』として、近年修復された仏様方を中心に特別公開を予定。平安時代の四天王像や聖観音菩薩立像等が見所の一つ。

畿内

長谷寺

奈良県桜井市初瀬731-1

☎0744-47-7001

だだおし法要

平成24年2月14日(火)

大和に春をよぶ火祭り。ひとの罪や穢れを仏前に懺悔し、身も心も清浄にして、新年を迎えるため、悪魔退散、無病息災、万民豊樂を祈る「修二会」の最終日の正月行事最後の大法要。



持国大権(空弁)時代・聖観音文化財
所蔵・写真提供:薬師寺



写真提供 一般財団法人奈良県ビジターズビューロー

生命の実感極まる秘境への旅のゲート

金峯山寺の大峯百日回峰行者が先達として同行する大峯修行体験では、自然の神秘、生きるもの力を実感し、その意義を知る。7世紀後半、役行者が吉野山から大峯山山上ヶ岳にかけての一带、金峯山での千日に及ぶ修行の末、金剛蔵王大権現を感得し、その姿を桜木に刻み山上ヶ岳と吉野山に祀ったのが金峯山寺の起り。以来ご神木として多数の桜を植樹した吉野は桜の名所にも。

金峯山寺

奈良市吉野郡吉野町吉野山 TEL:0746-32-8371

百日特別公開

公開中~平成22年12月9日(木)



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」

スタイルカフェ・ドット・ネット

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



東日本大震災 文化施設応援サイト

本頁の募集でも、文化として歴史を守っているのがある。

この力を支えて、さらば夕日!

協力:日笠山崎王寺 織姫光仏頂堂茶室 (TEL:074-1798)

旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設